

事業群評価調査(平成29年度実施)

基本戦略名	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる	事業群主管所属	福祉保健部長寿社会課
施策名	(1) いつまでも健康で活躍できる社会の実現	課(室)長名	小村 利之
事業群名	② 高齢者の社会参加と活躍促進	事業群関係課(室)	雇用労働政策課

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 高齢者のスポーツや文化活動への支援をはじめ、高齢者自らの生きがいを高め健康づくりを進める活動や、長年培った知識や経験を活かした活動等への支援を行い、高齢者の社会参加と活躍を促進します。					(取組項目) i) 長崎県ねんりんピックの開催、全国健康福祉祭への選手派遣等 ii) 高齢者の生きがいづくりや健康づくりなどの老人クラブ活動の支援 iii) 元気な高齢者が自らの知識や経験を活かして地域貢献できる仕組みづくりや活動支援 iv) 「第29回全国健康福祉祭ながさき大会」(愛称:ねんりんピック長崎2016)の開催	
指 標		最終目標 (H32)	目標 (H28)	実績 (H28)	達成率	(進捗状況の分析) 平成28年10月開催の全国健康福祉祭ながさき大会に向けて、競技・運営力向上のための講習会等に重点的に取り組み、県ねんりんピックの参加者数が増加するとともに、全国大会には例年の約4倍となる681人の長崎県選手団が参加し、平成28年度の目標を達成することができた。
事業群	長崎県ねんりんピック等の参加者数	6,000人	5,900人	6,331人	107%	
関連指標 その他						

2. 28年度取組実績(H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要 事業対象	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				28年度事業の成果等	中核事業		
			H28実績	一般財源	人件費(参考)		28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標	主な目標	H28目標			H28実績	達成率
			H29計画	一般財源	人件費(参考)					H29目標			—	—
取組項目 i	明るい長寿社会づくり推進機構費	H3-	63,082	63,082	4,021	主に60歳以上の高齢者 (公財)長崎県すこやか長寿財団が行う、長崎県ねんりんピック(高齢者スポーツ大会、文化交流大会、作品展)、平成28年度に本県で開催された全国健康福祉祭ながさき大会に向けた競技力・運営力向上のための講習会等の開催、平成28年度全国健康福祉祭への選手派遣、すこやか長寿大学の開催、アクティブ・エイジングサポート事業等に対する助成を行った。	活動指標 高齢者スポーツ大会等の開催回数(回)	11	12	109%	平成28年10月に開催した全国健康福祉祭ながさき大会に向けて、県ねんりんピックの参加者数が増加するなど目標を上回っており、高齢者の参加機会の提供を通じて、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、社会活動の振興に寄与した。また、全国健康福祉祭では、例年の4倍となる681人の長崎県選手団が参加し、56個のメダルを獲得するなど、素晴らしい成績を収めた。	○		
	長寿社会課		53,985	0	4,037			成果指標 参加者数(人)	9	—			—	
取組項目 ii	老人クラブ等育成事業	S38-	66,455	34,512	804	単位老人クラブ、県・市町老人クラブ連合会(中核市を除く) 単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会が行う、生きがいづくり、健康づくり、地域の支え合い活動等に対する助成を行った。	活動指標 事業実施単位老人クラブ数(クラブ)(中核市を除く)	1,244	1,231	98%			単位クラブ数・活動参加者数ともに減少したものの、全ての単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行ったことにより、老人クラブ活動の活性化が図られ、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、介護予防の推進及び社会参加の促進に寄与した。特に、平成28年度は、本県開催の全国健康福祉祭において、県内全ての市町老連が参画して地域文化伝承館の運営にあたり、大会成功に貢献した。	○
	長寿社会課		67,183	34,875	807			成果指標 老人クラブ活動参加者数(中核市を除く)(人)	1,231	—				
							65,028	63,291	97%					
								63,291	—	—				

取組項目 ii	老人クラブ研修費補助金	S49-	3,480	3,480	804	各単位老人クラブ(長崎市を除く)	老人クラブ活動の一環として研修旅行を行う場合に必要経費の一部助成を行った。	活動指標	研修実施クラブ数(クラブ)	92	80	86%	補助の内示を受けたものの研修実施が困難となったクラブがあったため目標を達成することはできなかったが、研修旅行を行う際に必要な経費の補助を行うことにより、老人クラブ活動を推進し、高齢者の生きがいを高めることに寄与した。	
	長寿社会課		3,000	3,000	807			成果指標	研修参加者数(人)	1,707	1,489	87%		
取組項目 iii	介護予防・生活支援体制整備事業(地域助け合いづくり事業)(医療介護基金)	H28-29	2,095	—	5,629	元気高齢者	生活支援を必要とする方々に対して、元気高齢者による助け合いの仕組みを構築するため、市町及び助け合いの事業を希望している団体等に対し、研修会や優良事例紹介等の支援を行った。	活動指標	研修実施回数(回)	10	18	180%		県内4地区(佐世保市、島原市、新上五島町、小値賀町)で研修会等を実施したが、地域で実働できる団体を育成するまでには至らなかった。
			長寿社会課	3,496	—			2,826	成果指標	地域こまらん隊結成地区数(累計)	2	0		
	高齢者の社会参加促進・表彰事業(医療介護基金)	(H29新規) H29	—	—	—	一般県民	高齢者の社会参加への機運を醸成するための大会を開催し、地域で活躍する高齢者や団体の表彰を行う。	活動指標	大会の開催回数(回)	—	—	—	—	
			長寿社会課	2,500	0			2,018	成果指標	大会の参加者数(人)	—	—		—
	生涯現役促進地域連携事業費貸付金	(H29新規) H29-31	—	—	—	主に60歳以上の高齢者及び事業者	高齢者の就業・社会参加機会の拡大など高齢者の活躍促進を図るため、国の生涯現役促進地域連携事業を実施する長崎県生涯現役促進地域連携協議会に対し、事業資金の貸付を行う。	活動指標	相談窓口による新規登録者数	—	—	—	—	
			長寿社会課	10,000	0			8,074	成果指標	相談窓口による進路決定者数	510	—		—
	総合就業支援センター運営等事業	H26-	138,675	138,675	8,042	求職者	若年、中高年、女性、高齢者等の様々な求職者のニーズに応じた就職支援として、個別カウンセリングや適職診断、求職者向け各種セミナーを実施した。	活動指標	総合就業支援センター利用者数(人)	6,700	5,042	75%	雇用情勢の改善により支援を必要とする求職者数が減少し、利用者数・就職者数の目標は達成できなかったが、様々な求職者のニーズに応じたワンストップサービスで県内への就業支援に寄与した。高齢者については、利用者延べ142人、就職者31人の支援実績となっている。	
			雇用労働政策課	133,993	82,619			8,074	成果指標	総合就業支援センター利用就職者数(人)	2,623	2,449		93%
	高齢者等雇用安定対策費	H26-	9,028	9,028	3,226	高齢者	高齢者等の失業の防止及び再就職の促進等、雇用の安定を図った。	活動指標	高齢者雇用支援のつどいの参加者数(人)	110	79	71%	県シルバー人材センター連合会への支援を行うとともに、「高齢者雇用支援のつどい」を通じた企業への普及啓発を図ることで、高齢者の多様な就業機会の提供に寄与した。	
			雇用労働政策課	8,803	8,803			3,230	成果指標	65歳までの継続雇用がある企業の比率(%)	100	98		98%
	取組項目 iv	全国健康福祉祭開催事業	(H28終了) H25-28	917,517	528,712	168,882	県内外大会参加者 県・市町・関係団体	平成27年度までに策定した各実施計画に基づき、平成28年10月15日から18日までの4日間、大会を開催した。開催に向け、式典音楽及び演技の練習会、交流大会出場選手の受付、開会式等の観覧者の募集、実施本部の立ち上げ、運営ボランティアの研修、メディアやボランティアを活用した広報、選手団等の輸送、宿泊、弁当斡旋、市町への支援等を実施した。	活動指標	広報サポーター活動延べ人数(人)	40	126	315%	開催期間中、大会運営をはじめ、県民総参加による心のこもったおもてなしにより、年齢や世代、地域を超えた交流の実現を通して、高齢者が元気で生きがいを見つけ、人と人とのつながりを大切に、未来につなげるという大会目標を達成できた。本県からは、例年の約4倍となる681人の長崎県選手団が参加し、各種種目において56個のメダルを獲得するなど素晴らしい成績を収めた。
				長寿社会課	—	—			—	成果指標	「ねりんピック長崎2016」大会参加者数(人)	50万	55万	

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 長崎県ねんりんピックの開催、全国健康福祉祭への選手派遣等

・平成28年10月に開催した全国健康福祉祭ながさき大会に向けて、県ねんりんピックへの参加者も増加(平成27年度4,167人→平成28年度4,852人)したほか、全国健康福祉祭では、例年の4倍となる681人の長崎県選手団が参加し56個のメダルを獲得するとともに、美術展においては6作品が入賞するなど、素晴らしい成績を収めた。すこやか長寿大学校については、受講生が減少傾向にあったため、県の広報媒体も含め募集広報に力を入れた結果、定員60名に対し、受講生は76名となった。

・また、地域内の自主的な活動を誘導・促進する取組を推進していくため、モデル的に、松浦市でバウンドテニスを地域活動として普及定着させるためのリーダー育成研修等を行うアクティブ・エイジングサポート事業に取り組み、リーダーを中心とした活動推進主体として松浦市バウンドテニス協会が設立されたほか、講習会の開催や中学生等との交流を通じて、自主的に活動するグループが出てくるなど、地域への普及定着が進んできている。加えて、運動ができない方などを対象にいきいき百歳体操の普及にも取り組んでおり、平成29年度は、このようなモデル事業の成果を報告書としてまとめるとともに、市町とも協議をしながら、地域におけるリーダー育成等を県内全域に広めていく必要がある。

・現在、すこやか長寿財団が実施している事業は、県ねんりんピック大会開催などスポーツの割合が大きいですが、今後は、スポーツ中心の生きがい・健康づくり事業から、高齢者の活躍の場の創出・拡大に向けた事業への見直し・再構築を行っていく必要がある。

ii) 高齢者の生きがいづくりや健康づくりなどの老人クラブ活動の支援

・単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行うことにより、老人クラブ活動の活性化が図られた。また、県老連においては、組織強化のため若手・女性リーダー育成研修会を開催(計93名参加)するとともに、県老連全体で会員増強運動に取り組んでいるが、高齢化による退会等のため全体としては2,543人の減となった。老人クラブ数、参加者数は減少傾向にあり、今後のさらなる高齢化に伴い、深刻化する地域の担い手不足などに対応するため、県老連などが行う若手リーダー等の育成、老人クラブの会員増強運動を支援していく必要がある。

・また、平成28年度は、本県開催の全国健康福祉祭において、県内全ての市町老連が参画して地域文化伝承館の運営にあたり、大会成功に貢献した。このような大会の成果を一過性のものとして終わらせることのないよう、高齢者の社会参加を一層促進するため、平成29年度新規事業として「高齢者の社会参加促進・表彰事業」を実施する。

iii) 元気な高齢者が自らの知識や経験を活かして地域貢献できる仕組みづくりや活動支援

・元気高齢者等による助け合いの仕組みづくりについては、地域での助け合い(互助)の意義の理解と地域で必要とされるサービス(事業)の把握及びその準備段階で終わってしまい、実働する組織(団体)まで結成することができなかったため、引き続き、地域での生活支援サービスを担う団体の育成と具体的な活動につなげていく取組が必要がある。

・平成28年9月に、高齢者の就業・社会参加に関する関係団体により「長崎県生涯現役促進地域連携協議会」を設立し、国の生涯現役促進地域連携事業の採択を受けて、平成29年3月27日には、高齢者の方々が就業から社会参加まで幅広く気軽に相談できる窓口として「ながさき生涯現役応援センター」(運営主体は協議会)を開設するなど、高齢者の活躍促進を一層図るための取組に着手した。センターの本格稼働に向けて、関係機関に対するセンターの役割の周知と、関係機関への橋渡し(情報共有、相互紹介)の具体的方法についての協議を行いマニュアル化、さらには、県内全域での事業展開を行うため県内2ヶ所にサテライト設置を進めていく。

・なお、「ながさき生涯現役応援センター」と併設している「総合就業支援センター」の高齢者コーナーにおいては、「ながさき生涯現役応援センター」が中心となって行う就業相談の支援、高齢者に適したセミナーの共催、職業紹介等の役割を担う。

iv) 「第29回全国健康福祉祭ながさき大会」(愛称:ねんりんピック長崎2016)の開催

開催期間中、大会運営をはじめ、県民総参加による心のこもったおもてなしにより、年齢や世代、地域を越えた交流の実現を通して、高齢者が元気で生きがいを見つけ、人と人とのつながりを大切に、未来につなげるという大会目標を達成できた。本県からは、例年の約4倍となる681人の長崎県選手団が参加し、各種種目において56個のメダルを獲得するなど素晴らしい成績を収めた。

大会期間中イベントとして開催した地域文化伝承館では、県内全市町の老人クラブ連合会が参加して、地域・生活文化の伝承活動の実演・展示、民族・郷土芸能や老人クラブ等の健康・生きがい活動の紹介が行われ、各世代間の交流が図られ、高齢者の生きがいづくりにつながったことから、このような取組を継続するため、平成29年度には新たに「高齢者の社会参加促進・表彰事業」を実施する。また、ボランティアとして参加された高齢者の社会参加への意欲をさらに高めていくため、高齢者の就業から社会参加まで気軽に相談できる窓口として、平成29年3月に開設した「ながさき生涯現役応援センター」を拠点として、関係機関による支援ネットワークを構築し、高齢者の社会参加を促進していく。

4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「—」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	明るい長寿社会づくり推進機構費	—	⑨	すこやか長寿財団の事業見直しを中心として、老人クラブの活性化も含め、高齢者の社会参加・活躍促進の見直し・再構築を行い、平成30年度事業案の具体化を図る。そのひとつとして、社会参加促進の観点から、地域貢献活動等への表彰やねんりんピック長崎大会での「地域文化伝承館」事業を継承する交流事業も取り込んだ事業を検討する。	拡充
取組項目 ii	老人クラブ等育成事業	—	—	老人クラブの活動は、地域のつながりが希薄化している中、老後の生活を豊かなものとし、活力のある高齢社会を構築していくための中核的な役割を担うものであり、今後もリーダー育成など活動費等への助成を継続することにより活動の活性化を図り、生きがいづくり、健康づくり、介護予防等に寄与していく必要がある。	現状維持
	老人クラブ研修費補助金	—	③	本事業は平成29年度をもって廃止するとともに、高齢者の社会参加・活躍促進施策全体を見直す中で、老人クラブの活性化に資する事業構築を検討する。	廃止
取組項目 iii	介護予防・生活支援体制整備事業(地域助け合いづくり事業)(医療介護基金)	—	—	助け合い活動に対する意識の高揚を図るため、優良団体を「地域こまらん隊」として認証する制度を検討するとともに、県・市町や関係団体の広報等を通じて、県内優良事例の他地域への横展開を進めることで、助け合い活動を県内全域に広めていく。	終了
	高齢者の社会参加促進・表彰事業(医療介護基金)	H29新規	—	高齢者の社会参加・活躍促進策の全体について見直しを行い、再構築を行う。	終了
	生涯現役促進地域連携事業費貸付金	H29新規	—	高齢者の就業・社会参加機会の拡大など高齢者の活躍促進を図るため、国の生涯現役促進地域連携事業を実施する長崎県生涯現役促進地域連携協議会に対し、引き続き事業資金の貸付を行う必要がある。	現状維持
	総合就業支援センター運営等事業	—	④	「ながさき生涯現役応援センター」と連携しながら、高齢者の就業相談、職業紹介等の支援を継続して実施する。	改善
	高齢者等雇用安定対策費	保育・看護等人手不足が生じている分野について、関係機関と協議・検討を行い、就業開拓の促進を図る。	⑨	高齢者等の雇用の安定に関する法律(国及び地方公共団体はシルバー人材センターの育成などに努める)に基づき、運営費補助をしている「県シルバー人材センター連合会」に対し、効率的・効果的な県の運営支援を図るため、派遣事業の拡大など環境変化を踏まえた助言・指導を行う。	改善